

一

問一 〈地獄のもろみまぜ〉の「せっせともろみを発酵させている微生物」「対話しているような時間が楽しくて」から、順調に発酵が進んでいる様子が読み取れます。よってウ「機嫌よさそうやな」が正解。「地獄のもろみまぜ」「ブツ、ブツ、ブツ」「プツ、プツ」にだまされないように。

問二 〈地獄のもろみまぜ〉に「微生物が酸素を吸って元気に働けるよう、かきまぜて空気を送ってやります」「たいへんな重労働なので、康夫さんはこの作業を『地獄のもろみまぜ』と呼んでいます」とあります。

問三 〈地獄のもろみまぜ〉に「もろみを仕込むとき、ふつうは塩水を使いますが、再仕込み醤油は塩水のかわりにできあがった醤油を使います。つまり『醤油で醤油を仕込む』ということになるので、とても濃厚な味わいになります」とあります。

問四 〈木桶の現状〉に「木桶でつくる醤油は～熟成するのに一年から二年、再仕込み醤油の場合は仕込みに使う醤油づくりから数えて四年かかります」とあります。

問五 「これまで生きてきて」が過去、「これから生きていく」が未来、「根っこ」が土台です。ウの桶職人の後継者がいなくなることで自体に責任を感じる必要はないでしょう。

問六 〈「木桶」の現状〉に「蔵独自の微生物が何十年、何百年と時を重ねるうちに独自の進化」をして「結果、その蔵、その木桶の中だけの（生態系）ができ」とあります。独自の環境が生まれているのです。

問七 〈蔵人の宝物、微生物と木桶〉に「醤油や味噌をつくる主役は微生物で、これは人間には手出しのできない領域」とあります。傍線⑤の直前は本質的なことではありません。蔵ごとの個性はやはり問六の空欄Ⅱあたりにあります。

二

問一 様子を表す言葉を選ぶ問題です。Ⅰは心がおちつくことを表すのに最も適当な言葉、Ⅱはアリの様子、Ⅲは人より前を歩く様子を表すのに適した言葉が解答となります

問二 指示内容をつかむ問題です。傍線部に「そうして」とあるので、傍線部の直前を見ると、「こよみさんが～かさなるのだ」とあり、「見ているものを言い表す言葉はこれなのだ」という正解と合致します。

問三 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部の行動につながる言葉として直前に「うれしくなるし、せつなくなるねえ」とあります。これによって傍線部が、一つの感情の現れた行動ではないことが分かります。ア、イの選択肢では一つの感情の現れた行動となってしまうため不適當です。

問四 表現についての理解を問う問題です。傍線部とその直前の二文は、通常とは違う順序で書かれています。これは後に書かれているものを強調する効果があります。つまり、

「一ミリにも満たない」のに「のっしのっしと」していることを印象づけているのです。「のっしのっしと」は力強く大きいことを表すので、ここから解答が得られます。

問五 文章の筋道をつかむ問題です。Aに入る言葉について「ぴったりのことばをつかうから」と理由が示されています。また『魔法つかい』ならぬ」ともあり、解答の類似の言葉と考えられるものが示されているので、両方を踏まえて書きます。

問六 文章の筋道をつかむ問題です。傍線部の直前に「腹が立った」とあり、これが返事しなかった直接的な理由です。ではなぜ腹を立てていたのかを考えると、さらに近接の部分に「くやしかった。」「浅子が～ほほえんだように思えた。」と続いており、ここからくやしい気持ちを笑われた、と読み取ることが可能です。

問七 比喩表現の理解を問う問題です。傍線部のカップとソーサーについて「かあさん」は、「中身の～うけとめられるんよ」と言っており、また、咲の「どっちがお皿？」という問いに対して、「さあどっちがどうなんかなあ」と答えており、これはどちらがどちらとも決められないという言葉が隠されていると考えられます。これを人と人との関係に当てはめて書くことが必要となります。カップもお皿も「人」の例えと考えると中身はコーヒーではなく、思いや気持ちを表していると考えればよいでしょう。どちらがどちらを受け止めると決まっているのではないとすれば、「互いに受け止め合う」「支え合う」などの解答が考えられます。

問八 文章の筋道をつかむ問題です。Bの直前に、「どのページにも～これ」とあり、その中の「のに」という言葉は、その直前と逆の内容をいう時に使います。つまりこの先には「どのページにもこよみさんが出てこない」となり、これに合う解答を選びます。

問九 文章の筋道をつかむ問題です。Iについては、「何度も」とあるので、数を表す言葉と考えられます。IIは、「ずっと考えていた」を表すので、言葉に出しているのではないことが書かれている部分を本文から探します。

IIIについては、華子さんの想像の内容を書くのですが、「心が汚れている」と感じられるようなできごとでなければ、二人の話の流れに合いませんので、「悪い考えを持ってやってしまったこと」として想像できることを書きます。

三

「取捨」選択や「馬耳東風」など、言葉の意味を知らないと書きにくい問題で間違いが多かったようです。知っている言葉の数を増やす学習をしましょう。